特定非営利活動法人

要約筆記 高知・やまもも No. 234

11月

発行　平成30年10月25日

声を上げ続けてほしい

理事　　川井美恵

障害者差別解消法が施行され２年６ヶ月が経ちました。この法律は不当な差別的取扱の禁止と合理的配慮の提供を求めるものです。

合理的配慮とは手帳の有無に関係なく当事者の意思表明が必要であり、また何らかの理由で当事者ができない場合は家族や支援者などが代わって意思表明をすることです。解消法施行で対象者の間口が広がり要約筆記の利用も多くなると、少なからず期待する部分がありました。ところが実際には派遣依頼件数はほとんど変化がありませんでした。その要因は、まず、当事者の人たちがこの制度を知らないことが大きいのではないかと思います。聞こえない、聞こえにくいことは周囲から見て分からない障害です。そのため誤解されることも少なくないと聞きます。

話は変わりますが、駅には必ずスロープやエレベータがありバリアフリーの概念は昨今社会に「当たり前」に存在するようになった感があります。しかし、 この当たり前・あって当然というまでになるに、どれだけ時間がかかったか。当事者たちは、その間、「当たり前になるまで声を上げ続けた」と聞いたことがあります。合理的配慮の制度ができて日も浅く「当たり前に浸透している状態」になるにはまだ相当の時間がかかるでしょう。決して過度でなく、その人にあった配慮をして当事者自身が主体的に力を発揮できるようになるのがこの制度の目標です。当事者の方々にはそれが実現するまで更に声を上げ続けてほしいと願います。その横で私たちも支援をしていかねばと思っています。

やまもも会員
11月現在 60名
（内 賛助会員4名）

＜要約筆記 高知・やまもも　の できごと＞

平成21年 （2009）	・高知県委託事業　　要約筆記奉仕員養成講座開講 ・派遣数　68件（含　養成講座講師派遣） ・かたつむり国語教室支援 ・高知県福祉基金助成 ・会長　溝渕三枝子　就任

ホームページ　http://yamamomo-kochi.sakura.ne.jp/
☎　090-7572-0855　Fax　088-840-2117　E-Mail　mienpa.4.5-25.mienpa@galaxy.ocn.ne.jp
Twitter　@youyaku_y / Facebook　youyaku.y / Instagram　youyaku.y

受講生の声シリーズ　第１弾　！
講座への注文も含め生の声をお聞きしていきたいと思います。

****

講座に通い始めて　　畑山　菜の子

講座に通い始めてはや半年近くが経ちました。回を重ねるごとに要約筆記の奥深さや、その魅力を実感しています。最近では前半と変わって実習も多くなりました。しかし、いざ実践、となるとプロの方達のように上手くはいかず、想像とのギャップに落ち込むばかりです。ですが、そんな私のことを気にかけてくださる方達のおかげで、その場その場でミスを修正でき、微力ながらも着実に力をつけることが出来ているような気がします。また、最近は日常生活に溢れている言葉や、相手の話の意図に着目することも多くなりました。講座が私の日常に新しい色を付け、より豊かなものにしてくれたと思っています。
試験まであと４か月、しっかり励みたいです。

****

要約筆記講座　　川口寿美代

昨年 12 月に突然、関節リュウマチになり何も考えられない中でこの講座を知り、こんな自分でもできることがあるのではないかと思い、受講の手続きをし今、講習を受けています。思っていたこととはずいぶん違い、難しく自分の甘さを知りました。聴覚障害者の立場に立った情報伝達、その場での通訳がいかに大切かを知り健聴者と同じ権利・保障は決して異なってはいけないと思います。要約筆記者となり少しでも聴覚障害者のみなさんおお役にたてるよう頑張りたいと思います。

****

受講しての思い　　壬 生 喜 久

還暦を迎えて、これから先私に何かできることはないのかと考えていたときに、この養成講座を知り何故かこれだと思って衝動的に申し込みをしていました。講習が始まり回を重ねるごとに養成講座の難しさがわかってきて、講習会場へ向かう足が重くなってきています。相手に言葉で伝えるということだけでも難しいのに、話を聞き（ながら）要約（しながら）文字で正確な情報を伝える。このながら作業が古びた頭にはとてつもなく難しくなかなかついて行けない状況です。しかし、今まで知らなかったことを知るという学習は楽しさを覚えています。私にも何かできるのではと思わせてもらえます。最後まで絶対に頑張るぞ！と自分自身に言い聞かせて次回の講習会に向かいます。

****

初めての実習　　藤 原 理 恵

初めての実習があった。Ｋさん、Ｙさん、私の３人一組で４チームを組む。私はサブの担当になった。メインのＫさんがペンを走らせる。資料等見やすく見せようとするが、上手く出来ない。交代。素早い移動は美しくできない。「初めてやし」全員思ったと思う。多分。ペンを持ち、声に集中する。書けない。どこから書き始めたら自然につながったのか！あっという間に時間切れ。次は引手。難しい。素早くさっと引いたつもりが、何故か引っかかり止まってしまう。結局、全てにおいて自分のやりやすさより他のメンバーのやりやすさが大事で、そこを意識して動くことなのか。そんなことを感じた実習でした。

****

＜編集子の感想＞：　要約筆記はみなさんの感想のとおり難しい。「ながら作業」のはてしない繰り返し。難しさを感じながら、それでもなお、みなさん魅力を感じていらっしゃるようで、がんばれ！と応援しています。藤原さんの「全てにおいて自分のやりやすさより他のメンバーのやりやすさが大事・・云々」という感想には拍手を贈りたい。その通り。それがチームワークです。みなさん，がんばってください。

****

人・ヒト・ひと

横顔 23
笹岡一實　さん

**★見るからに、誠実、まじめできちんとされた方です。
コメントで趣味と言われる手芸、一實さんにぴったり。
着物地でつくられるという室内着や飾り物を想像。
一實さんの世界を覗いてみたい、と思いました。
筆記者としても、頑張ってください。**

★次回もお楽しみに

■入会年は？／2015 年。要約筆記への興味から始まった受講。内容の難しさからか、講習の回を重ねるにつれ受講生が減りとても残念に思いました。

■趣味は？／手芸。着なくなった着物で室内着を作ってみたり、家の飾り物はほぼ手作り作品です。

■嫌いなことは？／約束の時間に遅れること。

■習慣／毎日2回(朝と夜)洗濯をすること。
■理想のタイプ／自分に厳しく人に優しい人。
■いけないと思いつつやってしまうことは？　／夜更かし。
何かを始めると日付が変わることもしばしばです。
■自分の性格は？／楽天的面と慎重な面を併せもっている。

読書

「百年の手紙　」―日本人が遺した言葉―
梯久美子　著
岩波新書

藤崎文子

自分の身辺から得られるものは限られているが、書物から得られる人々の生きざまを知ることは、自分に大きな広がりを与えてくれるものと思う。この本はジャンルを超えて、あらゆる場所に生きた人の声が聞こえる。日常から脱出して自分をあちらこちらに連れて行ってくれる本です。　　※　梯　久美子(カケハシ　クミコ)

掲示板

敬称略

◆平成 30 年度
スキルアップ研修

30 年度全国統一要約筆記者認定試験に向けたスキルアップ研修が開催されます。
手書き・パソコン
12 月 2 日～2 月 10 日　計 7 回
会場　高知市障害者福祉センター
申込・問合せ　管理担当
ｍａｉｌ：　ogura_annko_0207@yahoo.co.jp
ＦＡＸ：０８８－８４５－２５８５　（専）

◆土曜会からお知らせ

11 月の土曜会は高知市障害者福祉センターの事業等のため、休会とします。
なお、12 月については、おって配信します。
―担　当―

Amazon でのお買い物は　⇒　やまももものホームページ Amazon アソシエイトから。※購入金額の一部が広告宣伝費として Amazon からやまももに支払われ、活動費となります。※購入金額に宣伝費が追加されることはありません。

30年11月　活動予定			
日・曜	会　合　名	時　間	場　所
4日（日）	要約筆記者養成講座　第25回	9：30～12：30	障害者福祉センター
7日（水）	障害者支援の理論と実践	12：30～16：30	高知大学朝倉キャンパス
10日（土）	人権シンポジウム in 高知	13：30～17：30	かるぽーと
11日（日）	要約筆記者養成講座　第26・27回	9：30～16：30	障害者福祉センター
14日（水）	高知県社会福祉大会	10：30～15：00	ふくし交流プラザ
15日（木）	中国・四国地区社会教育研究大会	12：20～17：10	県民文化ホール
15日（木）	木曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
17日（土）	理事例会	10：00～12：00	障害者福祉センター
17日（土）	高知県中途失聴者・難聴者の会	13：00～16：00	障害者福祉センター
18日（日）	要約筆記者養成講座　第28回	9：30～12：30	障害者福祉センター
19日（月）	木曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
29日（木）	木曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
30年10月　活動追加			
日・曜	会　合　名	時　間	場　所
2日（火）	ノートテイク　依頼取消		
4日（木）	ふれあい体験学習	13：30～15：20	春野高校
6日（土）	ＰＣ勉強会	13：00～15：00	障害者福祉センター
12日（金）	ふれあい体験学習	13：50～15：00	五台山小学校
12日（金）	ノートテイク		
13日（土）	ノートテイク		
20日（土）	土曜会　13日（土）を変更	10：00～12：00	障害者福祉センター
22日（月）	ふれあい体験学習	14：50～16：40	高知西高校
27日（土）	全国豊かな海づくり大会前日リハ	8：00～18：30	かるぽーと

《まっこと》■九月の声を聞くとヌスビト萩が咲く。イタドリも今年は白い花をいっぱいつけている。昨日まで何もなかったところに真っ赤なマンジュサゲが咲いた。この花には百以上の呼び名があると聞く。私はボゼとよんでいた。球根を水にさらすと食料になり戦時中は食べていたらしい。昨今は白い花も加わり、特別大きな見事な花が咲き楽しませてくれる。その足元にはミゾゾバ、ヘクソカヅラ、ツルボ等のかわいい花も満開だ。秋の野草も数えきれないがコスモス、ススキの花はまだ先になりそうだ。（美）■浦戸湾に漂着したサン・フエリベ号の航海士の言動が端緒となって豊臣秀吉のキリスト教弾圧が強化され長崎で二十六聖人が処刑された。この聖人殉教像を含む長崎・天草の潜伏キリシタン関連遺産が、今年世界文化遺産に登録された。抑圧されても暴力に訴えるのでなく、じっと隠れながら救いを求めてきた信徒たちの二百五十年。像は世界平和への祈りに見える。（善）■彼岸花が終わり木犀が薫る。土手のコスモスも満開。酷暑が続こうが植物は季を逃さない。また、空は高く蒼く秋本番だ。私たちは自然に抱かれ春夏秋冬当然のように植物の命をもいただき命脈を保つ。この宇宙で小さな存在の私。日々様々あるが、今日の平穏に感謝し精一杯前向きに生きようと赤々と沈む夕日を眺めつつ思う。（滋）■江の口川沿いのススキと麒麟草が風に揺れる。それを後ろに流し見ながら自転車で疾走。ツーカイ！心地よい。疲れも不満も吹っ飛ぶ。生きていることを実感するひと時。秋はいい。（三）